

1/5/1 (Item 1 from file: 351)  
DIALOG(R) File 351:Derwent WPI  
(c) 2004 THOMSON DERWENT. All rts. reserv.

010808392 \*\*Image available\*\*  
WPI Acc No: 1996-305345/ 199631  
XRPX Acc No: N96-256802

Card prodn. system for typography printing - provides attribute information display which indicates expression mode that is distinct for every card base material printed with coloured characters, patterns and symbols

Patent Assignee: DAINIPPON PRINTING CO LTD (NIPQ )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 8132768	A	19960528	JP 94271974	A	19941107	199631 B

Priority Applications (No Type Date): JP 94271974 A 19941107

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 8132768	A	7		B42D-015/02	

Abstract (Basic): JP 8132768 A

The system has a base material which is connected to card base materials (21-23) through perforations (25). The attribute information on each holder patterns includes characters, patterns and symbols with colours.

An attribute information display is printed in each card base material which indicates an expression mode. The expression modes differ for every card base material.

ADVANTAGE - Ensures inexpensive and high-speed card prodn. Enables to produce several cards since different designs are printed.

Dwg. 3/4

Title Terms: CARD; PRODUCE; SYSTEM; TYPOGRAPHIC; PRINT; ATTRIBUTE; INFORMATION; DISPLAY; INDICATE; EXPRESS; MODE; DISTINCT; CARD; BASE; MATERIAL; PRINT; COLOUR; CHARACTER; PATTERN; SYMBOL

Derwent Class: P75; P76; T01; T04

International Patent Class. (Main): B42D-015/02

International Patent Class (Additional): B41J-005/30; B42D-015/04; G06K-017/00

File Segment: EPI; EngPI

1/5/2 (Item 1 from file: 347)  
DIALOG(R) File 347:JAPIO  
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts.. reserv.

05177268 \*\*Image available\*\*  
CARD AND CARD FORMING DEVICE

PUB. NO.: 08-132768 [ JP 8132768 A]  
PUBLISHED: May 28, 1996 (19960528)  
INVENTOR(s): KITAI MICHITOMO  
TAKAHASHI SHIGEYUKI  
MORITA YORIKO  
APPLICANT(s): DAINIPPON PRINTING CO LTD [000289] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)  
APPL. NO.: 06-271974 [JP 94271974]  
FILED: November 07, 1994 (19941107)  
INTL CLASS: [6] B42D-015/02; B41J-005/30; B42D-015/04; G06K-017/00  
JAPIO CLASS: 30.1 (MISCELLANEOUS GOODS -- Office Supplies); 29.4 (PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines); 45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)

ABSTRACT

PURPOSE: To provide a card on which a pattern different at every individual is expressed at low cost.

CONSTITUTION: A card is equipped with a base material part wherein name base materials 21-23 are connected through a perforation 25 in a cuttable manner and an attribute data display part wherein the attribute data of a possessor consisting of a character, a figure, a mark, a pattern, a combination of them or a combination of them with a hue are printed on the card base materials 21-23 of the base material part in different expression modes.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-132768

(43)公開日 平成8年(1996)5月28日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 42 D 15/02	521			
B 41 J 5/30		B		
B 42 D 15/04		K		
G 06 K 17/00		L		

審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全7頁)

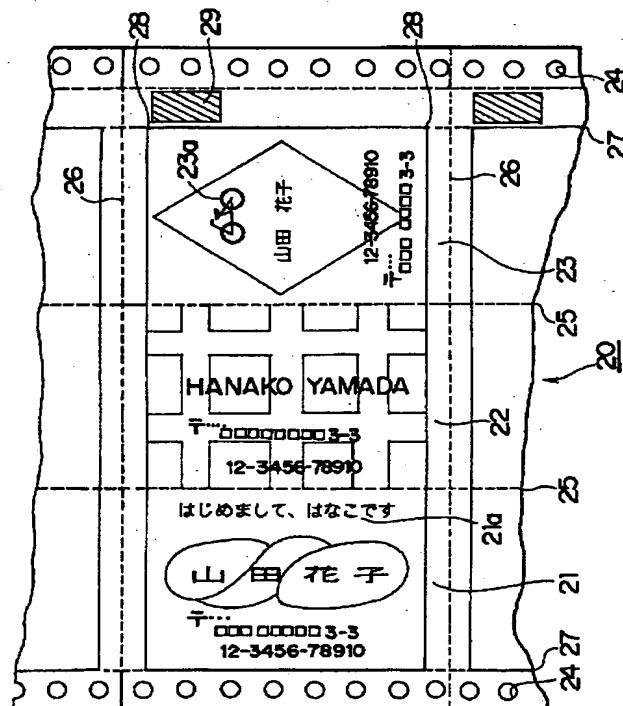
(21)出願番号	特願平6-271974	(71)出願人	000002897 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
(22)出願日	平成6年(1994)11月7日	(72)発明者	北井 道友 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内
		(72)発明者	▲高▼橋 重行 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内
		(72)発明者	森田 より子 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 大日本印刷株式会社内
		(74)代理人	弁理士 鎌田 久男

(54)【発明の名称】名刺、及び名刺作成システム

(57)【要約】

【目的】個人ごとに異なる絵柄等を表現した名刺を、低コストで提供する。

【構成】本発明の名刺は、名刺基材21～23がミシン目25により裁断可能に接続された基材部と、文字、図形、記号、模様、若しくはこれらの結合、又はこれらと色彩との結合からなるその保有者の属性情報が、それぞれ異なる表現態様によって前記基材部の各名刺基材21～23上に印刷された属性情報表示部とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】複数枚の名刺基材が分離可能に連接された基材部と、  
文字、図形、記号、模様、若しくはこれらの結合、又はこれらと色彩との結合からなるその保有者の属性情報が、それぞれ異なる表現態様によって前記基材部の各名刺基材上に印刷された属性情報表示部とを備えることを特徴とする名刺。

【請求項2】請求項1に記載の名刺を作成するための名刺作成システムであって、  
複数の名刺作成申込者の住所、氏名を含む属性情報を記憶する属性情報記憶部と、  
前記属性情報記憶部から、所定の名刺作成申込者の属性情報を引き出し、前記属性情報の印刷時のレイアウトを決定する電算処理部と、  
前記電算処理部の指令に基づき、前記基材部を有する連続帳票に前記属性情報を印刷する印刷部とを備えることを特徴とする名刺作成システム。

【請求項3】請求項2に記載の名刺作成システムにおいて、

前記属性情報記憶部は、  
複数の名刺作成申込者の前記属性情報を、最初に一時的に格納する第1の属性情報記憶部と、  
前記第1の属性情報記憶部に格納された前記属性情報を、校正した後に格納する第2の属性情報記憶部と、  
前記第1の属性情報記憶部に格納されない属性情報であって外字を含む属性情報を格納する第3の属性情報記憶部とを備えることを特徴とする名刺作成システム。

【請求項4】請求項2又は3に記載の名刺作成システムにおいて、

複数の名刺作成申込者の画像情報を記憶する画像情報記憶部を備え、  
前記電算処理部は、前記属性情報記憶部から引き出した前記属性情報と対応する画像情報を、前記画像情報記憶部から引き出すことを特徴とする名刺作成システム。

【請求項5】請求項2～4に記載の名刺作成システムにおいて、

前記印刷部により属性情報が印刷された連続帳票を、前記基材部単位に裁断する帳票裁断部を備えることを特徴とする名刺作成システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、その保有者の住所、氏名等の属性情報を印刷した名刺、及びこの名刺を作成する名刺作成システムに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、名刺の一般的な作成方法として、活版印刷が知られている。活版印刷は、活字を組み並べて作った版で印刷する方法であり、現在では活字を直接印刷する方法と、その活字組版から複製したもの。

(鉛版、樹脂版等)を使用するものとが知られている。この活版印刷では、より精密な文字を再現することができる。また、今日では、社名等の標章を、色彩を含めて名刺に表現することも行われるようになっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前述の従来の名刺の作成方法では、以下の課題があった。第1に、名刺を活版印刷により作成する場合には、対応する所望の活字を組み並べなければならず、手作業的要素が残されており、完全自動化を行うことができない。このため、名刺の作成コストは極めて高いという問題があった。第2に、社名等の標章のような、固定的な絵柄を名刺に表現することは行われているが、個人ごとに異なる絵柄を表現する場合には、作成時に個人ごとに絵柄を交換しなければならず、名刺の作成に多大な時間を必要とするという問題があった。ここで、個人ごとの絵柄の版を作製すれば、時間的な問題は解決するが、版にかかるコストが極めて高くなる。従って、個人ごとに異なる絵柄を名刺に表現することは、実質的にはほとんど不可能であった。

【0004】本発明は、上述のような課題を解消するためになされたものであって、個人ごとに異なる絵柄等を表現した名刺を、低コストで提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために、請求項1の発明は、複数枚の名刺基材が分離可能に連接された基材部(21～23, 25)と、文字、図形、記号、模様、若しくはこれらの結合、又はこれらと色彩との結合からなるその保有者の属性情報が、それぞれ異なる表現態様によって前記基材部の各名刺基材上に印刷された属性情報表示部とを備えることを特徴とする。

【0006】請求項2の発明は、請求項1に記載の名刺を作成するための名刺作成システム(10)であって、複数の名刺作成申込者の住所、氏名を含む属性情報を記憶する属性情報記憶部(11a～11d)と、前記属性情報記憶部から、所定の名刺作成申込者の属性情報を引き出し、前記属性情報の印刷時のレイアウトを決定する電算処理部(11)と、前記電算処理部の指令に基づき、前記基材部を有する連続帳票(20)に前記属性情報を印刷する印刷部(12)とを備えることを特徴とする。請求項3の発明は、請求項2に記載の名刺作成システムにおいて、前記属性情報記憶部は、複数の名刺作成申込者の前記属性情報を、最初に一時的に格納する第1の属性情報記憶部(11a)と、前記第1の属性情報記憶部に格納された前記属性情報を、校正した後に格納する第2の属性情報記憶部(11b)と、前記第1の属性情報記憶部に格納されない属性情報であって外字を含む属性情報を格納する第3の属性情報記憶部(11c)と

50

3

を備えることを特徴とする。請求項4の発明は、請求項2又は3に記載の名刺作成システムにおいて、複数の名刺作成申込者の画像情報を記憶する画像情報記憶部(11d)を備え、前記電算処理部は、前記属性情報記憶部から引き出した前記属性情報と対応する画像情報を、前記画像情報記憶部から引き出すことを特徴とする。請求項5の発明は、請求項2～4に記載の名刺作成システムにおいて、前記印刷部により属性情報が印刷された連続帳票を、前記基材部単位に裁断する帳票裁断部(13)を備えることを特徴とする。

## 【0007】

【作用】請求項2の発明においては、属性情報記憶部により各個人の属性情報が記憶され、電算処理部により名刺への印刷時のレイアウトが決定される。そして、印刷部により、連続帳票に属性情報が印刷され、名刺が作成される。従って、印刷する情報に個性を出すことが容易となり、また、低成本で名刺を作成することができる。請求項3の発明においては、属性情報は、その処理過程や特性に応じて第1～第3の属性情報記憶部に記憶される。従って、属性情報の処理を効率よく行うことができる。請求項4の発明においては、画像情報記憶部に各個人の画像情報が記憶され、電算処理部により属性情報とともに処理される。従って、名刺に文字等のみならず、各個人ごとの画像情報を併せて印刷することができる。請求項5の発明においては、帳票裁断部により、印刷された連続帳票が基材部単位に裁断される。従って、名刺を利用しやすい形態に形成することができる。

【0008】請求項1の発明においては、名刺は、上記名刺作成システムによって作成される。従って、複数枚の名刺基材に、異なる表現様によって個性のある属性情報を表示することができ、かつ、低成本で作成することができる。

## 【0009】

【実施例】以下、図面等を参照して、本発明の一実施例について説明する。図1は、本発明による名刺作成システムの一実施例の構成を示すブロック図である。名刺作成システム10は、ホストコンピュータである電算処理部11と、電算処理部11に電気的に接続された印刷部12と、裁断部13と、封入部14等とから構成されている。

【0010】電算処理部11は、名刺作成申込者の住所、氏名等の属性情報を名刺に出力する際に、その出力時のレイアウト等を決定するためのものである。電算処理部11は、トランザクションファイル11a、マスターファイル11b、保留ファイル11c、イメージファイル11d等を備えている。トランザクションファイル11aは、名刺作成申込者の属性情報が最初に一時的に格納されるファイルである。マスターファイル11bは、トランザクションファイル11aに格納された名刺作成申込者の属性情報に校正が加えられ、誤りのない情

4

報となったときに、その情報が格納されるファイルである。保留ファイル11cは、入力できないような外字(特殊文字等)が属性情報にある場合に、その属性情報を格納するファイルである。イメージファイル11dは、名刺にイメージ(画像)を表現する場合に、名刺作成申込者から提供されたイメージ情報を格納するファイルである。

【0011】次に、名刺の作成方法の一実施例について説明する。図2は、名刺の作成の流れの一実施例を示すフローチャートである。先ず、ステップ101において、名刺作成申込者は、申込書に自己の属性情報を記入して、その申込書を名刺作成者に送る。この申込書には、その申込者の郵便番号、住所、氏名(日本語及び英文)、電話番号、印刷するメッセージの有無及び種類、メッセージに書き込む名前、印刷するイラストの有無及び種類、住所の印刷の有無等を記入する。ここで、メッセージとイラストとは、予め複数種類のものが準備されており、名刺作成申込者は、この中から所望のメッセージとイラストとを選択することになる。なお、名刺に希望するイメージ(自分の顔写真等)を表現する場合には、その旨を申込書に記載し、そのイメージ見本を申込書とともに提出する。

【0012】ステップ102において、作成者は、申込書を受け取ると、この申込者の属性情報をパンチ入力し、次のステップ103でこれをトランザクションファイル11aに格納する。ここで、属性情報に外字がある場合には、属性情報にその旨を併せて入力する。また、トランザクションファイル11aには、メッセージとイラストとの符号化された情報が格納され、イメージがある場合には、その旨の情報が格納される。さらに、イメージは、イメージファイル11dに格納される。

【0013】次に、ステップ104において、トランザクションファイル11aの中から属性情報を校正リストとして出力し、申込書とのマッチングを行い、ステップ105で、出力した属性情報のエラーチェック、すなわち校正の有無を判別する。校正の必要がある場合には、ステップ106に進み、校正作業を行い、再度、ステップ103に戻って校正後の属性情報をトランザクションファイル11aに格納する。そして再度ステップ105で校正の有無を判別する。校正の必要がない場合、すなわち属性情報に誤りがなければ、ステップ107に進み、マスターファイル11bにその属性情報を格納する。

【0014】次に、ステップ108において、マスターファイル11bの情報の振り分けを行う。つまり、属性情報に外字が存在する場合には、ステップ109に進み、保留ファイル11cにその情報を格納し、ステップ110において外字、保留台紙にそれを出力する。一方、ステップ108で外字がない場合には、上記処理を行わず、ステップ111においてマスターファイル11

bの属性情報を所定の台紙に出力する。次に、ステップ112に進み、電算処理部11は、マスターファイル11bや保留ファイル11cから属性情報（符号化された情報）を引き出し、その属性情報を名刺上にどのように印刷するか（レイアウト）を決定する。例えば、名前の文字数に基づいて、名前のセンタリング処理を行う。ここで、名前が長い場合には、2段に分ける等の処理も行う。さらに、属性情報の中に、出力すべきイメージがある場合には、イメージファイル11dの中から、その属性情報に対応する画像情報を選定する。電算処理が完了すると、ステップ113に進み、これらの情報が印刷部12に伝送され、カラーレーザプリンタにより印刷を行う。

【0015】図3は、この印刷に用いられる連続帳票と、印刷された属性情報の一実施例を示す図である。この連続帳票20は、名刺の大きさより縦方向の寸法がやや大きく形成された名刺基材21～23が3枚横方向に連接されており、その1ブロックが縦方向に連続したものである。連続帳票20の両側には、プリンタと係合するスプロケット孔24が形成されている。各名刺基材21～23間は、それぞれ目の細かいミシン目25により連接されている。このミシン目25は、その部分を複数回屈曲させることにより、極めて容易に名刺基材21～23間を分離することができ、かつ、名刺基材21～23の縁部には、ほとんど凹凸が目立たないように分離することができるものである。一方、各名刺基材21～23を縦方向に連接するミシン目26は、一般に用いられるものである。

【0016】各名刺基材21～23には、それぞれ申込者の住所、氏名、電話番号等が異なる表現態様によって印刷されている。さらに、各名刺基材21～23には、それぞれ異なる色彩、模様によって表現された背景が印刷されている。また、名刺基材21には、メッセージ21aが印刷されており、名刺基材23には、イラスト23aが印刷されている。さらにまた、名刺基材23の外側（右側）に印刷されたマーク29は、複数枚の名刺を出力するときに、前後の申込者とは異なった情報（バーコード等）を印刷しておいて、申込者を区別するためのものである。印刷された連続帳票20は、裁断ライン27でカットされて両側のスプロケット孔24及びマーク29が分離されるとともに、裁断ライン28でカットされて、3枚の各名刺基材21～23が連接した状態に形成される。

【0017】説明を図2に戻す。ステップ114において上述のように裁断された名刺（3枚の名刺基材21～23が連接したもの）は、ステップ111又はステップ110で出力された台紙とともに、封入部14によって封入され、申込者に発送される。申込者は、発送されてきた名刺と台紙とを確認し、自分が依頼した通りに名刺が完成しているか否かをチェックする。誤記等がある場

合には、台紙に出力された属性情報を加筆訂正し、再度この台紙を作成者に発送する。作成者は、この台紙に基づき、属性情報を訂正し、訂正後の属性情報をマスターファイル11bに格納する。

【0018】図4は、作成された名刺の第2の実施例の構成を示す図である。左側の名刺基材31には、自己の会社（紳士服店）の住所及び名称と、氏名が印刷されており、通常の名刺としての機能を果たすものである。また、中央の名刺基材32は、その紳士服店で使用することができる割引券となっている。さらに右側の名刺基材33は、その紳士服店の地図が表示されたものである。このように、本発明における名刺には、その全てが名刺としての機能を果たすものに限らず、名刺とともに使用可能なものを同時に名刺状に形成することができる。

【0019】以上、本発明の一実施例について説明したが、本発明は、上述した実施例に限定されることなく、その要旨を逸脱しない範囲内で種々の変形が可能である。例えば、実施例では、3枚の連接した名刺を示したが、2枚、あるいは4枚以上連接しているものであっても良い。また、実施例では、連続帳票20の片面にのみ属性情報を印刷したが、両面に印刷するようにしても良い。

#### 【0020】

【発明の効果】請求項2の発明によれば、電算処理により、印刷する情報に個性を出すことが容易となり、また、高速かつ低コストで名刺を作成することができる。請求項3の発明によれば、属性情報の処理の効率化を図ることができる。請求項4の発明によれば、名刺に文字等のみならず、イメージを併せて印刷することができる。これにより、名刺の個性をより引き出すことができる。請求項5の発明によれば、名刺をより利用しやすい形態で提供することができる。請求項1の発明によれば、複数枚の名刺基材に異なる表現態様によって個性のある属性情報を表示することができ、かつ、低コストで提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による名刺作成システムの一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】名刺の作成の流れの一実施例を示すフローチャートである。

【図3】印刷に用いられる連続帳票、及び印刷された属性情報の一実施例を示す図である。

【図4】作成された名刺の第2の実施例の構成を示す図である。

#### 【符号の説明】

10 名刺作成システム

11 電算処理部

11a トランザクションファイル

11b マスターファイル

11c 保留ファイル

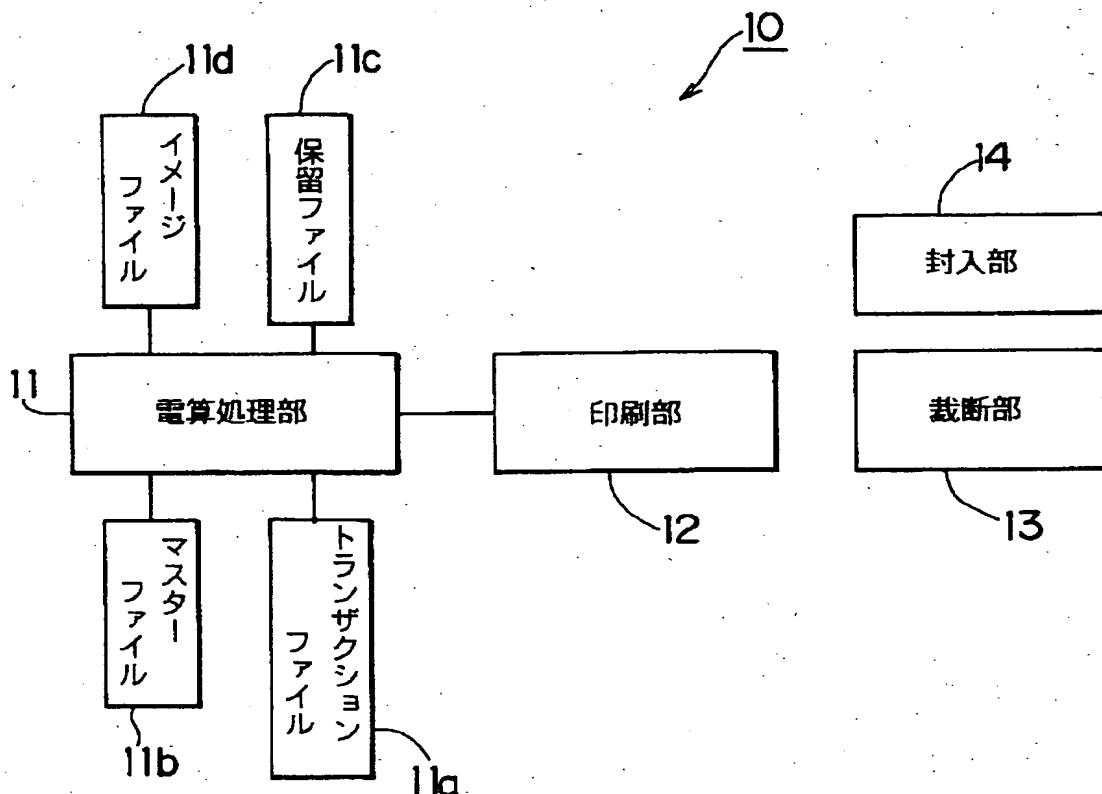
7

11d イメージファイル  
12 印刷部  
13 裁断部  
14 封入部  
20 連続帳票

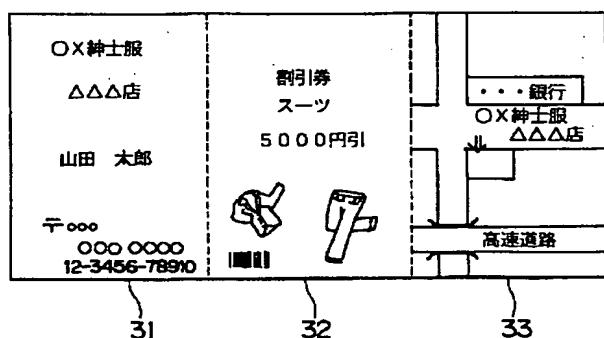
8

21~23 名刺基材  
21a メッセージ  
23a イラスト  
25, 26 ミシン目

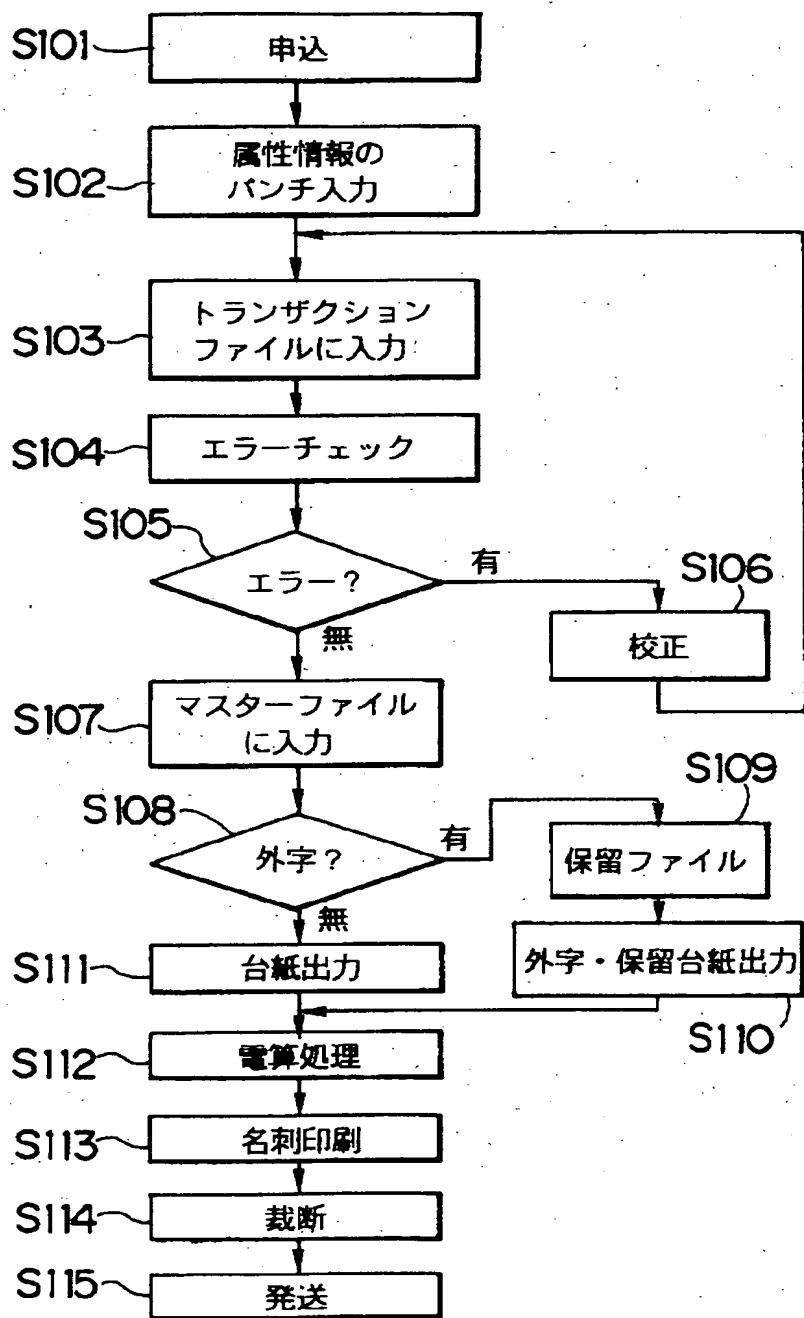
【図1】



【図4】



【図2】



[図3.]

